

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要		■ 外観	
建物名称	(仮称)オーヴィジョン段山本町 新築	階数	地上14F
建設地	熊本県熊本市中央区段山本町42番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年3月9日
敷地面積	2,464 m ²	作成者	
建築面積	564 m ²	確認日	
延床面積	5,502 m ²	確認者	



1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)

排出率

100%

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

評価点

76

■ 熊本県重点評価基準

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	🍡🍡🍡🍡🍡
80点以上100点未満	🍡🍡🍡🍡
60点以上80点未満	🍡🍡🍡
40点以上60点未満	🍡🍡
40点未満	🍡

※評価点は、100点以上が推奨です。

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	81.7
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	75.0

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーヴィジョン段山本町 新築	階数	地上14F
建設地	熊本県熊本市中央区段山本町42番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年3月9日
敷地面積	2,464 m ²	作成者	
建築面積	564 m ²	確認日	
延床面積	5,502 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・材料: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・材料

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価 評価点 **76**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進
評価点 = 81.7

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現
評価点 = #####

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全
評価点 = 75.0

重点事項4: 循環型社会の実現
評価点 = 75.0

重点事項の評価 (レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

自然・地域環境に配慮した建物を目指す。

Q1 室内環境

音・熱・光換気等の環境に配慮している。

Q2 サービス性能

設備の更新性に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

可能な限り緑地としている。

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

内装材等、資源のリサイクル。

LR3 敷地外環境

可能な限り緑地としている。

その他

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)オーヴィジョン段山本町 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本市重点評価結果					総合評価点		76
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点	
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				81.7	0.40	32.68	
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05				
Q1-3.1.3	昼光利用設備	5.0	0.05				
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05				
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15				
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20				
LR1-3	設備システムの高効率化	3.4	0.30				
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10				
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10				
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00	
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25				
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15				
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20				
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15				
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00	
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20				
LR2-1.1	節水	3.0	0.30				
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20				
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30				
④ 循環型社会の実現				75	0.20	15.00	
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30				
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30				
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10				
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④)の項目

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数